

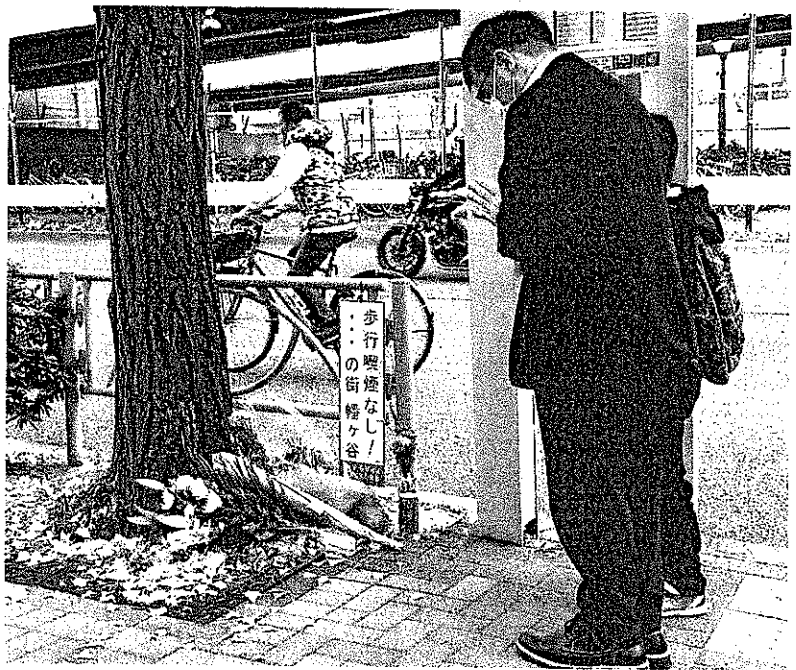
# 渋谷女性死亡 弟「理不尽な死許せない」

東京都渋谷区のバス停で路上生活者の大林三佐子さん(64)が頭を殴られて死亡した事件で、警視庁捜査一課に傷害致死容疑で逮捕された近所の吉田和人容疑者(46)が「事件前日にお金をあげるからバス停からどいてほしいと頼んだが、断られて腹が立った」と供述していることが捜査関係者への取材で判明した。捜査一課は一方的に不満を募らせて暴行を加えたともっている。

吉田容疑者の逮捕容疑は16日午前4時ごろ、渋谷区幡ヶ谷のバス停のベンチに座っていた大林さんの頭を殴り、外傷性くも膜下出血で死亡させたとしている。調べに「まさか死ぬとは思わなかった」と容疑を認め、「痛い思いをさせればいなくなると思って、持っていたポリ袋で殴った。ポリ袋に入れていたペットボトルだけでは軽いと思い、現場近くで拾った石を入れた」と供述しているという。

吉田容疑者は実家の酒店を手伝いながらボランティアで地域のごみ拾いなどをしていた。事件当日は散歩に出た際に大林さんを見かけたことみられている。【土江洋範】

## 困っている人を見守れる社会に



現場のバス停に献花して手を合わせる大林三佐子さんの弟  
—東京都渋谷区幡ヶ谷で22日、鈴木拓也撮影

大林三佐子さんが襲われた東京都渋谷区幡ヶ谷のバス停に22日、大林さんの弟(62)が献花に訪れた。昨年末には大林さんからクリスマスカードを受け取ったが、10年間ほど連絡を取っておらず、住む家がなかったことも知らなかったという。取材に「元気にしていると思っていた。理不尽に命を奪われ、許せない」と絞り出すように語った。

大林さんは16日午前4時ごろ、バス停に座っているところを襲われ、病院に運ばれたが死亡した。所持していたのは8円だけで、身元はすぐには分からなかったが、持っていた名刺ほどの大きさのメモ用紙に親類の連絡先などがびっしり書き留められていた。

大林さんの弟は埼玉県に住み、捜査員から姉が事件の犠牲になったと知らされたという。大林さんとは音信不通の状態だったが、昨年12月に届いたクリスマスカードには「元気ですか」と書かれていた。カードは介護施設に入っている母親にも届いていた。

弟は大林さんについて、「活発な性格で、人前で話すのが好きだった」と振り返る。若いころはアナウンサーになる夢を持っていたこともあったが、あきらめ、結婚式の司会などをしてきたと聞いたことがある。自立心が強く、どんな状況でも「自分でできるからいいよ」と何とかしようとする姿の印象が強いとも。

長く会っていなかった姉の突然の死に直面し、「路上にいたのは、生活が苦しくなったのだろう。その理由は分からないが、なぜ助けを求めてくれなかったのか」と悔やむ。弟は「どういう事情があっても、困っている人たちを優しく見守れる社会になってほしい」と話した。

捜査関係者によると、大林さんは広島市出身で、結婚はせず、十数年前には上京したとみられている。約3年前に事件現場から約4キロ離れたアパートを引き払い、今年2月にはスーパーの販売員を辞めたというが、詳しい生活実態は判明していない。

近隣の住民は、今春ごろから深夜から未明にバス停で仮眠を取る大林さんの姿を目撃していた。バス停には屋根があり、雨露をしのいでいたようだ。近隣のトラブルもなかったという。【鈴木拓也、最上和喜】

11/23/20日